

2. 指標設定

成果指標	指標名	公有林の適正管理		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画／後期計画(1-4-1)重点施策5による			
活動指標	指標	a	公有林の健全化	b	公有林の育成管理	c		d	
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
公有林の適正管理	ha	6 ha	6 ha	6 ha
		— %	— %	— %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 公有林の健全化	ha	6 ha	6 ha	6 ha
b 公有林の育成管理	人	43 人	43 人	41 人
c				
d				

4. 課題と対応

課題
公有林の面積が膨大である。また、多くの看守人が高齢化したため後継者の育成が急がれる
対応(改善点等)
豊後大野市森林整備計画により適正管理を行う

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

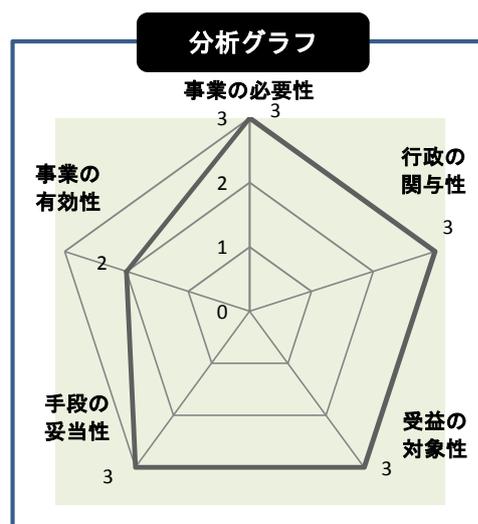
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		6,144	6,916	10,417	21,128
うち経常経費		3,936	4,478	5,481	6,326
財源内訳	国費				
	県費	2,316		2,000	350
	市債				
	その他		2,438	904	35
	一般財源	3,828	4,478	7,513	20,743
うち経常		3,100	4,478	5,449	6,291
事業費に係る人件費		3,184	2,987	3,153	3,096

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平成23年度に策定する市町村森林整備計画の施策計画により実施していく

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 公有林であるため、健全な育成管理を行う必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 所有管理者として、必要な業務
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 管理育成を行う事により、資源価値の増加
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 現在の管理は最低限必要な事業である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 計画的な管理を行う



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	森林整備計画により適正管理を行うこと